

対タジキスタン草の根・人間の安全保障無償資金協力 ヴァフダット行政郡中等学校教育備品整備計画

本計画の支援対象地域となったヴァフダット行政郡は、首都ドゥシャンベから21km北方に位置する、人口約28万人の都市です。農業を主要産業としていますが、収入が低いためロシア等の海外に出稼ぎに行く男性が多く、父親不在のまま母親だけで子育てを行う家庭が多く存在します。

子供を持つ多くの地域住民は、ヴァフダット行政郡の今後の発展には若い世代の育成が重要と考えており、行政郡内の教育環境の改善を希望していますが、行政郡には教育分野に配分する十分な予算が無く、子供たちは十分な教育備品も無いまま、不衛生かつ不適切な環境での学習を強いられていました。

こうした現状において、日本政府は教育備品の整備を通じてヴァフダット行政郡内の教育環境を改善することは、タジキスタンの将来を担う人材の育成、地方経済の活性化の観点から不可欠かつ重要として、同行政郡内に所在する計5校の中等学校に対し、教育備品の支援を実施しました。



テープカットを行う小松書記官とカモロフ・ヴァフダット行政郡教育局長（ヴァフダット市第3中等学校）。



日本の支援により整備された黒板（ヴァフダット市第3中等学校）。



日本の支援により整備された机・椅子（ティロイ・サフェロ地区グリストン村第22中等学校）。



日本の支援を示すODAサインボードは各校に設置されています（ヴァフダット市第3中等学校）。



日本の支援で整備された教育備品を使用して勉強する子供達たち（ホジ・カタガン地区バホール村第131中等学校）。



日本の支援により整備された本棚。（ヴァフダット市第3中等学校）。